

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApag>

facebook



vol 435

Feb 2024



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~7
CAPP&INSTRUCTOR STATION	8~11
JAHA STATION	12~13
News&Information	14

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



理事 横山 篤司

「VN委員会の活動について」

日本動物病院協会理事の横山篤司と申します。日頃はJAHAの活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

今回は今年度のJAHA事業についてお話ししたいと思います。私の担当の一つにVN委員会があります。このVN委員会は動物病院には欠かせない両輪である、獣医師と愛玩動物看護師のうち、愛玩動物看護師のスキルアップするセミナーの企画・運営を担当しています。

2023年度の主な事業は愛玩動物看護師国家試験対策セミナーと愛玩動物看護師オンラインセミナーの二つです。

まず一つ目のVN委員会の柱は愛玩動物国家試験対策セミナーです。2022年5月の「愛玩動物看護師法」施工に伴い、2023年2月に第1回愛玩動物看護師国家試験が実施され、第1回の結果は、動物看護師統一認定機構からの発表によると、受験者数20,798人、合格者18,481人、合格率88.9%で受験者の約9割の方が合格されました。今年度も昨年に続き株式会社EDUWARD Press様の全面協力のもと9月7日～12月26日の期間で全4期・全16回の国家試験対策セミナーを実施いたしました。ご協力いただいた講師の先生方は、

- 第1期 竹島大貴先生
(ふなばし動物医療センター かつまペットクリニック勤務獣医師)
- 第2期 市川楓也先生
(ミズノ動物クリニック 勤務獣医師)
- 第3期 木原翼先生
(元ふなばし動物医療センター かつまペットクリニック勤務獣医師)
- 第4期 森本健太先生
(ミズノ動物クリニック 勤務獣医師)

以上の4名にお願いしました。

このセミナーは、株式会社EDUWARD Press全面協力のもと練習問題を提供していただき、オンラインでリアルタイムに進行するセミナーとして、制限時間30分で30問を解答した後に答え合わせと講師による解説があるものでした。どの先生も大変丁寧で分かりやすい解説であったと受講者から高い評価をいただきました。今年度講師をしていただいた4人の先生方に感謝を申し上げるとともに貴重な獣医師を講師として出していただいた病院にも御礼申し上げます。

このセミナーの特徴として実践的に「マークシート方式試験に慣れる」ことを目的としていました。受講者のアンケートには「実践に近いのでよかった」「練習問題に多く触れることができ良かった」「ひっかけ問題の練習になった」との評価をいただきました。受講者の皆さんはもちろんのこと、今年度受験される多くの方の合格を祈るばかりです。

二つ目の柱は「動物看護師オンラインセミナー」です。今年度は、講師を根尾櫻子先生(麻布大学)にお願いして『動物看護師のための臨床病理・臨床検査』をシリーズで開催しました

- 第1回 7月22日開催 「ミスをしないう血液検査」
- 第2回 10月25日開催 「尿検査:看護師として注目すべきポイント」
- 第3回 12月6日開催 「血液塗抹標本:変化を見逃さないためのポイント」

特に第1回は年次大会プログラムとして対面で開催したところ90名定員の会場に参加者が多く来場し、追加で椅子を入れるほどの大盛況でした。質問内容もかなり専門的かつ現場に即した内容が多く熱心に受講していただきました。

第2、3回のオンラインセミナーは第1回のアンケートを元にテーマを決め、これまでのVNセミナーにいくつか工夫を加えました。一つ目は第2回と第3回のセットでの一括申し込み方式、二つ目は病院単位での団体申し込みです。実施結果としてセット割引が良かったのか個人での申し込み者の9割がセットでの一括申込を選択しました。もう一つの要因として事前アンケートに基づいたテーマというのもよかったのではないかと感じています。

今後も愛玩動物看護師の国家資格化によりJAHAとしては

— 今月の表紙 —

「大好き!」

大内 彩 様



現場で活躍する・活躍できるようにするために、今後様々なニーズにきめ細やかにこたえていきたいと思っています。是非とも皆さんから様々なご意見やアドバイスをいただきながらJAHAを通して社会貢献をしていきたいと思ひます。

私自身多くの先輩から様々な知識・技術・想いを教えていただき、それが私の根幹となっています。先輩から引き継いだこれらの想いを自分のところで止めずによりパワーアッ

プして次の世代に引き継ぐことが今の私の使命と考えています。また、その使命を果たす場所がJAHAと考え、それを具現化するために理事をさせていただいています。先輩から受け取ったバトンをJAHAの仲間たちと温めて成長させて次の世代に渡したいと思ひます。JAHAは日本の動物病院業界の発展を願って日々活動を行っています。今後とも何卒宜しくお願ひ申し上げます。

麻布大学わんわんマルシェ

麻布大学@わんわんマルシェにJAHAがブース展示をさせていただきました！

2024年1月6日(土)、7日(日)両日ともに良く晴れて気持ちの良い日でした。

イベントのテーマは“イヌがヒトとヒトをつなぐ”

ブースではJAHAの先生方によるわんちゃん&ねこちゃんの健康相談をおこないました。わんちゃんを通じて飼い主様とお話ができ、信頼関係が生まれ繋がりが強化される

まさにヒト、動物、環境のOne Well-being!! を体験させて頂きました。

参加者は2日間で約6500名と大盛況のうちに無事終了いたしました。

JAHAのブースにお立ち寄り頂きました先生方ありがとうございました。

ご協力いただいた先生:宗像俊太郎先生、市川陽一朗先生、上野弘道先生、吉内龍策先生、水野浩茂先生、吉田尚子先生、横山篤司先生、家入秀明先生、菊水健史先生



足はいたくないですか…?



青空わんわん相談会

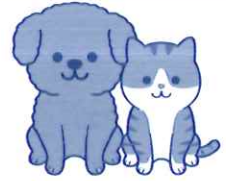


先生方で協力ありがとうございました



(左)吉田尚子先生 (右)水野浩茂先生

認定

こいぬこねこ教育
アドバイザー

- ① 勤務先動物病院／院長 ② 担当・役職／経年数
③ 仕事の近況、講座を受けてよかったこと、今後の抱負、または後輩へのメッセージなど

今川 小夏 さん

- ① ふなばし動物医療センター
(院長:勝間健次)
② 動物看護師6年
③ 今まで学んだことを活かし、飼い主様とワンちゃんネコちゃんがより良い関係を築いて幸せな生活が送れるよう、サポートしていきたいです!
今の現状に満足せず、自分にもっと自信が持てるよう、これからも学びの姿勢を続けて更に成長していきたいです!!



大前 三千代 さん

- ③ キャットシッターの私が只々幸せな猫を増やしたい動機だけで講座受講を始めてから沢山の方達に支えて頂いて、今回認定を頂く事ができました。感謝の気持ちで一杯です。ここからが本当のスタートだと思います。飼い主様とわんちゃん・ねこちゃんが幸せに暮らせるお手伝いをしつつ、自身も成長していきたいです。



岩崎 由利子 さん

- ① Premo動物病院
(院長:岩崎大樹)
② 愛玩動物看護師7年
③ こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を通して学んだ知識と得た技術の両方が臨床の場で子犬や子猫とその飼い主様に対して良い影響を与えられていると実感しています。より一層気を引き締め、これからも知識と技術のアップデートを怠らず、Premo動物病院が動物達にとって楽しい場所になるよう精進して参ります。



酒井 菜緒 さん

- ① はとがや動物病院
(院長:溝口俊太)
② 愛玩動物看護師5年目
③ こいぬこねこ教育アドバイザーを受講してこいぬ教室を看護師や動物病院スタッフが行う重要性を学びました。看護師としての仕事のやりがいを感じることができるようになりました。動物病院から実施できるこいぬ教室をより多くの飼い主様に提供し、人と動物が幸せになれるお手伝いを資格取得後も精進していきたいです。



櫻井 紗喜子 さん

- ① BiBi犬猫病院
(院長:櫻井洋平)
② 愛玩動物看護師6年
③ この講座を通して、子犬子猫教育の知識だけでなく本当に沢山の事を学べたので、最後まで諦めずに頑張った良かったと改めて思います。ここで学んだ事をいかし、より多くの飼い主様とペットが幸せに暮らしていけるようにしっかりアドバイス出来る病院スタッフになりたいです。また常に学び続ける姿勢も忘れずに頑張ります!



関根 遼 さん

- ① 千葉どうぶつ総合病院
(院長:和田治弥)
② 病院スタッフ兼トレーナー4年
③ 講座での課題発表やグループプレッスをこなし、資格取得によって自分に自信をつける事ができました。最近は卒業生やクラスで関わった子達が待合室で会った時に尻尾を振ってくれたり、嬉しそうにしてくれる姿を見るのが私の楽しみです。そんな子達が1人でも多く増えるように日々精進していきます。



高須 ちえり さん

- ① アポロどうぶつ病院(院長:杉井太市郎)
② パピーケアスタッフ6年
③ ベーシックからインターンまで、スムーズには受けられなかった私ですが、いつも暖かく迎えてくれたイン・クローパースタッフの皆様と同期のみなさんのおかげで無事走り抜けることができ、心から感謝しています。今年は、私が学んだことを病院スタッフにも広めていき、さらに動物に優しく、動物が楽しく心地よく過ごせる病院を目指していきたいです!





松田 奈穂子 さん

① よしなり動物病院(院長:松田奈穂子)

② 院長17年

③ 病院嫌いな子を減らしたい、という思いで受講を決めましたが、ベーシックをうけて、まだまだ足りないと思いインターンまで受講しました。コロナの影響もあり、ベーシックは途中で中断、実践コースはWebでの受講となりましたが、同期のみなさんと香織先生はじめインクローバーの皆様のおかげで、インターンを修了し認定試験に合格することができました。インターンコース中は緊張することもたくさんありましたが、毎回すごく充実し楽しく過ごすことができました。これからも、病院嫌いな子を減らし、飼い主さんとペットが幸せに過ごせる手助けをしていけるよう、頑張っていきたいと思います。



徳田 智子 さん

③ ベーシックコースから4年間、先生、先輩、同期の皆様のおかげで勉強を継続し、認定を受けることができました。こいぬこねこの教育を通して、動物たちが家族の一員として、また社会の一員として幸せな生活を送ることができるよう、これからも精進していきたいと思います。



渡邊 美春 さん

① あかつき動物病院(院長:小原諭)

② 愛玩動物看護師 22年

③ 資格を取るために関わった先生方、スタッフの方々に感謝し、今後も飼い主様とペットとの幸せな生活のために貢献していけたらと思います。



寺町 光成 さん

① 寺町動物病院(院長:寺町光成)

② 院長17年

③ 認定試験、合格しました!やったー!

この講座を受けて、子犬の時の社会化がいかに大事か、ということがわかりました。社会化をすることで、しっぽを振りながら診察室に入ってくる犬や、診察が終わっても診察室から出たくないと座り込む犬を見ると、すごく嬉しくなります。これからも続けていきたいと思います。



藤塚 あかね さん

① 調布 犬の保育園&しつけ教室 リトル・チカ

② ヘッドドッグトレーナー/愛玩動物看護師

初めて動物病院で働いてから17年、トレーナーとして独立して7年になります。

③ 認定取得し、ようやくスタートラインに立ちました。ワンちゃんのトレーニングは奥が深過ぎて、勉強すればするほど沼にハマります。今後はステップアップのため世界基準の資格を目指そうと思います。地元小学校でのAAA活動や愛護推進員としてのボランティア活動もパートナードッグ達と楽しみながら遂行していきたいと思います。



松野 凌真 さん

① もみの木動物病院(院長:村田元)

② しつけ専任スタッフ4年

③ 今後の抱負としては、より多くの飼い主様とペットが幸せに暮らしていけるようにパピークラスを通してサポートをしていきたいです。参加して良かった、楽しかったと思っただけのようにこれからも頑張っていきたいと思います。





動物病院が伝えるホスピタリティ

動物病院接遇コンサルタント
坂上 緑

昨年私自身が受講したセミナーで、興味深い資料を手に入れました。雇用、指導する側にはシビアな内容ですが、講師の荻谷先生の話し方が巧みで楽しいセミナーでした。

私の専門学校での指導歴は40年になります。実技試験の際はグループに分け、実施順を決めるのですが、「じゃんけんする人代表で一人立って」と言うと、全てのグループでその代表を決めるため当然のようにじゃんけんを始めるのは、いつ頃からだったのでしょうか。そんなことで、いちいちじゃんけんをしたら、時間がかかるだけでしょう、アイコンタクトで決めて「じゃあ私が」と誰かが立てばすむことだから…と指導していたのですが、資料と照らし、自分の経験に絡めてこの現象を分析してみました。



Z世代を働きやすくする指導スキル

かつては院長がAさんに何らかの指示をすれば全員に伝わっていました。しかし、だんだんと「伝わっていないのでは？」と感ずることが増えていませんか？ Aさんの世代に施された教育と時代背景が、院長のそれとは違うからです。様々な世代のスタッフが混在するほどに、院長の意図は伝わらなくなる…これが組織をバラバラにしていくし、退職者も増えてしまう原因かと思われま

さて、AさんがZ世代なら「これは全員に伝えるべき」と判断はしているものの、現場で他のスタッフに声を出して伝えているわけではなさそうです。なぜなら自分がその任になければ、そういう目立った行動は、職場内の人間関係に軋轢が起こるからです。「Aさんはなんだか偉そうにしているよね」と感じたら、その日の内にネットで言い合えます。スマホを与えられて育った世代は、そういうリスクを自動的に回避するのですね。だから伝達ノートやグループラインに書いて「伝えたこと」にするのです。先輩になった人すべてがリーダーになる気はないし、現場でそれが実行されているかどうかのチェックまでを自分の仕事と認知していません。完全に昭和育ちの私には驚きでしかありませんが、この世代の「人間関係の軋轢に苦しみたくない」思いは悲痛ですらあるなと感じた次第です。

しかし業務は誠実に、効率よく進めなければなりません。例えば、獣医師が保定の要請をした時、処置室側から返事がない等の現象はありませんか？それが何故かの分析をする必要があります。私はこの度、「自分が返事したら、保定に行きたいと思っていた誰かが行け

なくなってしまう」とか「〇〇さんお願いしますと自分が指示してみんながどう思うか不安」等の懸念があることを、初めて知りました。じゃんけん現象が起こるはずですね。しかし、医療現場においては、診察を迅速に進める事よりも、そんな身内への気遣いが優先されるのは本末転倒です。ただ、ここで職業人としての責任についてどう思っているのか？等と問い詰めると、混乱して固まります。その様子を見て「聞いているの？」と追い打ちなどかけると、辞めてしまうかもしれません。

今できる対策ですが、院長が自分の指示を託した人の名前と状況を明確にし、スタッフ全員に「権限を委譲した」ことを周知なさってください。「保定は要請のタイミングでAさんが処置室内で行ける人を確認し、指示を出すよう僕が指示しました」等と。Aさん自身は保定はせず、指示に専念するため片付け物などしながら、処置室と診察室全体の管理を担ってもらってください。院長の指示であることが「周知されていれば」、Aさんがやっても批判は免れます。Aさんの役は一人ではなく、それができそうな人のローテーションにするとよいでしょうね。ただ、一人ずつを見極めて判断しないと、処置室での指示出しがプレッシャーで、入院室にこもったり、検査、調剤をひたすらやってしまうという現象も起こりえます。

スタッフが相互に声を出して、動物にとって最適な選択をしながら業務を進める環境を作れば、過去のネガティブな経験は払拭され、自分の能力を存分に発揮できる職場になるでしょう。誰もが動物を愛してそこにいるのは昔から変わってないのですから。

セミナー参加者 院長・ベテラン看護師用



本人材は動物好きで非常にデリケートな傷付きやすい仕様になっております。この取扱説明書を良くお読みいただき、安全に接して下さい。

取扱説明書

人材分類：ゆとり・さとり・Z世代

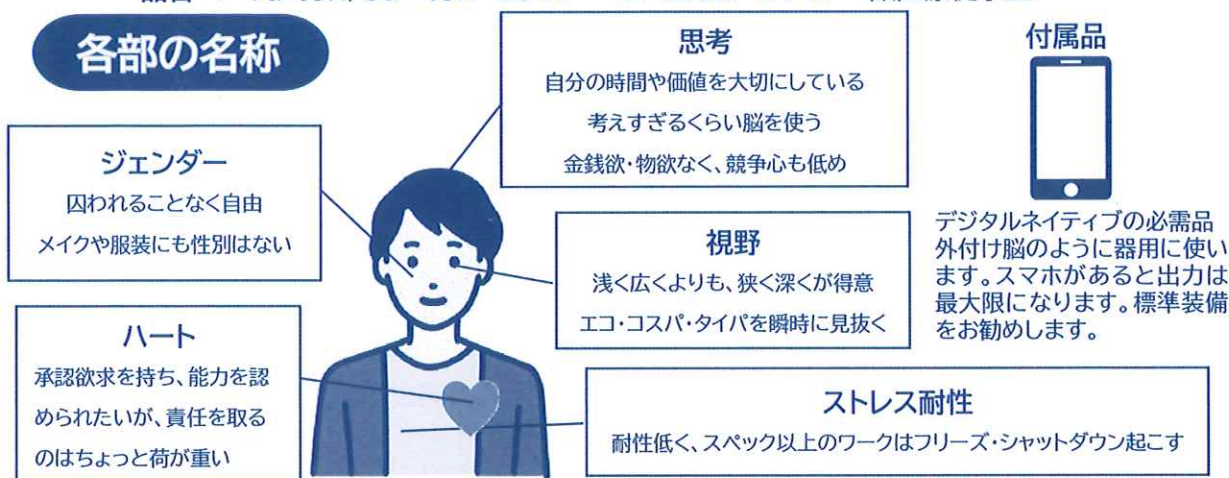
誕生日：1987y/1995y

品番：Yu-tori/Sa-tori モデル

Z-sedai モデル

獣医療従事型

各部の名称



ご指導のまえに

若手世代と上手く付き合っていくために必要な背景です。よくお読み下さい

- ・人口減少は今後更に悪化し、人手不足で病院が成り立たない状況になります。
- ・それによって超ウルトラ売り手時代が到来しています。
- ・若手を理解し、その能力を最大限引き出さないと、今の戦力スタッフでは補えなくなります。
- ・若手世代に対応する為には、院長やベテラン世代のアップデートが必要になります。
- ・新しいモデルに対応する為には、定期的にご自身のご自身のアップデートを行って下さい。



KEEP A SAFE
DISTANCE



雇用主・上司の方へ・・・

「どうすれば若手をうまく操縦できるか」という考えは、非常に危険です。

その考えは今すぐに捨てて下さい。

雇用上のご注意

- その能力を活かす為には、この「雇用上のご注意」をよく読み、特性をご理解のうえ正しく雇用し接して下さい。



危険

突然の退職や心を閉ざす可能性があります。絶対にしないでください。

理由を聞かずに結果だけで怒らないでください。	叱られた事を原動力に変えて、反骨精神で頑張る機能は付いていません。
急に、プライベートな時間に誘わないでください。	プライベートな時間まで業務に使う気はありません。ましてや急な誘いはありえません。
上司というだけで偉そうにしないでください。	年功序列や会社の勤務歴では納得できません。先輩の能力をちゃんと見せて下さい。

故障かな？と思ったら・・・

そのままにしておかないで、サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

動物病院6S コンサルタント 苅谷直子(かりや なおこ)

cariko_anuvis_743@yahoo.co.jp

Report

IAHAIO 2023 年次大会参加レポート

世界基準の HAI (Human Animal Intervention) アップデート
—IAHAIO2023 年次大会から—

理事 吉田 尚子

こんにちは

みなさん、犬猫との暮らし、ふれあいを楽しんでいますか？

私事ですが、一年ぶりにご縁をいただき、新しい犬を迎えました。4歳のワイマラナーです。保護犬は様々な背景を持ち、いろいろな問題も起きますが、教えられることや飼い主さんの悩みや想いを共有する機会を与えてくれます。しつけインストラクターはじめ、各分野の専門家に頼ることの価値やチームワークのすばらしさも教えてくれます。

人と動物の相互作用(HAI)のすばらしさを、より多くの人に、さまざまな文化的背景で広げつつ、世界の基準をしっかりと提唱しつづける団体が、IAHAIO(人と動物の関係に関する国際組織)です。IAHAIO 2023大会のテーマは「動物と高齢化社会」。世界共通の大きなテーマです。今回は大会にオンライン参加した内容についてご報告いたします。

初日はIAHAIO会長Marie-Jose Enders-Slegersの講話からの開会となりました。世界的な高齢化社会に向けたメッセージで始まり、各国の高齢者AAAに関するパネルセッション、高齢者向けホースセラピーなどが続きました。最後はイギリス人獣医師のDr. Omerod (IAHAIO元副会長、SCAS: The Society for Companion Animal Studies代表)による高齢者とそのペットのための住居の課題と自身の経験に基づく提言などが印象的でした。2日目は、活動における犬と猫それぞれの考察、獣医学視点からの高齢者とそのペットのケア、人材の育成などのセッションなどがありました。

いずれも各国の文化的背景、国際的な状況を意識した洗練された内容でしたが、今回は心理学の博士でHAI研究者でもあるDr. Endersと2名の獣医師による発表について抜粋してご紹介します。

IAHAIO

International Association of
Human-Animal Interaction
Organizations

HAI(Human Animal Interaction:人と動物の相互作用)の基準をアップデートし、人と動物双方の世界のウェルビーイングに貢献する国際組織。JAHAの人と動物双方のウェルビーイングに基づくふれあい(CAPP)活動が、当初から40年近く模範としている。3年ごとに世界各地でHAIに関する国際学会(IAHAIO大会)を開催しており、数少ない世界レベルの活動発表の場となっている。



IAHAIO について

JAHA 年次大会で Enders 会長から
いただいたメッセージ

IAHAIO 2023 大会 プログラム概要

日時：2023年10月28、29日
ロンドン時間 12:00～15:30 オンライン
(日本時間 19:00～0:30)

参加者：約150名

テーマ：Aging and Quality of Life: Active Inclusion through
Animal-Assisted Services

「高齢化とQOL：動物介在活動を通じたアクティブな参画」

サブテーマ：初日 動物と高齢化社会 - 地域コミュニティに生きる

2日目 動物と高齢化社会 - ケア施設、病院、ホスピス

対象者：動物と人を結びつけ、双方の生活の質の向上に関心のある人



1. 高齢者とコンパニオニマルとの相互作用、動物介在サービスの経済的および健康上の利点および課題 (演者 Dr.Enders)

私たちは、より良い生活環境と医療のおかげで、ますます高齢化する社会に生きています。世界ではすでに5歳未満の子供よりも65歳以上の人口の方が多く、高齢者を介護する若者が減少するなか、施設での介護ケアよりも長期在宅ケアの需要が高まっています。世界保健機関(WHO)は、高齢者が自立と生活の質を維持し、年齢に優しい環境で能力を育む方法を実現するよう社会に勧告しており、Active Agingによって社会的かつ行動的な生活を自宅で過ごせる高齢者が増え、特別なサポートが必要な場合のみ施設に入居するという状況になり始めています。



Marie-Jose Enders (心理学博士、HAI 研究者、オランダ)

『WHOのビジョンには、ペットの所有が見事に適合する』と演者はいいます。

『多くの研究からも、ペットの飼育や動物支援サービスにおける人と動物の相互作用は、高齢者に次のように多くの利益をもたらすことがわかっている。

- ・ペットがファリシテータとなって、高齢者のコミュニティにおける社会的なつながりの構築に役立つ
- ・ペットの存在自体が高齢者の心拍、血圧、生活リズムを安定化する
- ・自分以外に責任を持つ存在があることが高齢者のいきがいとなる
- ・ペットがいることで、伴侶や友人との別れ等、新しい状況に高齢者が適応しやすい

一方で課題もあり、ペットの飼育には一定の費用がかかるが、高齢者がペットの恩恵で健康を維持することで削減できている医療費とペットの獣医療費の比較など、ペット飼育に関わる費用対効果の研究は行われていない。さらには、家族の態度や理解(高齢者飼育の不安、経済的な嫌悪感)が障害になることや、高齢者自身がペットのために健康でありたいと思う反面、自分の健康よりもペットにお金をかけてしまう場合があることを知っておくべき』とのことでした。

『高齢者が外見、能力(知力、記憶力、行動力)に衰えを感じている中で、ペットはそれらを評価指摘することなく、無条件の愛情を示すことで大きな精神的な支えとなる』と強調していたことはとても印象的でした。

2. 高齢者とそのペットのケア：獣医学的視点から（演者 Dr.Knesl, Dr.Ng）

まずDr. Knesl からは、人と動物の絆が生活に与える良い影響について、最新の研究内容として、ミシガン州立大学医学部と国立健康加齢研究所が行った共同研究を紹介されました<図1>。50～80歳までのペットを飼育する2051名をアンケート調査したもので、回答者の6～7割がペットの存在によって、肉体的、感情的な苦痛の軽減をはじめとする、様々な良い効果を感じている、と報告されています。

『人と動物の絆は、人間と動物の相互に利益をもたらす関係性であり、人と動物の絆における獣医師の役割は、双方が得る精神的・身体的・社会的な利益を可能な限り高めること、そしてお互いの健康とウェルビーイングの促進に努めることである。獣医師は人と動物の絆の専門家として、高齢者とペット双方のウェルビーイングにおいて、次の2点を的確に把握できる立場にある。

- ①高齢者とペットにとって、共に生活することのメリットとリスク
- ②ペットが高齢者の健康と幸福にとって重要であること

そのため獣医師を含む介護従事者は、高齢者とそのペットのホームケアを改善することで、人と動物の絆がもたらす相互利益を最大化できる』とDr. Kneslは強調していました。

Dr. Ngからは、大学付属動物病院で臨床をする傍ら、大型犬の子犬の飼育を始めてしまった高齢の飼い主の代わりに、預かってトレーニングを提供したという事例などの紹介がありました。

『大型犬の子犬をはじめ、力強く動きの速いペットは高齢者にとって常に転倒のリスクに直結する。獣医師は、ペットケアのパートナーとして飼い主である高齢者と信頼関係を構築し、高齢者のニーズを引き出して、状況に合った治療計画に努めることが重要だ。また高齢者のペット飼育については①動物病院への通院の負担、②ペットのしつけと行動学的な配慮、③ズーノーシスなどについても丁寧に考慮する必要がある。』とDr. Ngは解説していました。

このセッションは、獣医学が人と動物どちらのウェルビーイングにもアプローチできる私たち動物病院の可能性と重要性を感じさせるものでした。

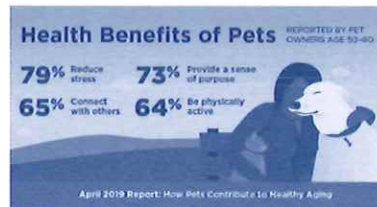
おわりに

自分自身が高齢飼育者と日々向き合う中で、学会全体を通して、コミュニケーションやケアの良い部分と難しい部分を改めて認識しました。

高齢化社会は世界中で避けられない現象であり、すべての分野で受け入れ、取り組むべき変化です。Enders会長は最後に『「高齢者がペットと共存できること」と「ペットと双方がwell-beingである」ことを両立することが重要だ』と強調しました。

私たち動物病院は人の高齢者飼い主の支援に併行して、動物の高齢化や介護の問題にも目を向ける必要があります。その中でいかに、人と動物の相互作用の素晴らしい効果に目を向け、いかに私たちがその効果を最大限に生かすことができるか、会としても課題を乗り越えるためのプロセスを協議し協力をしたいと考えます。

各専門分野、関連企業のみなさま、そして飼い主の皆様の豊かな経験について、引き続きご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



<図1>ミシガン州立大学「健康長寿に関する世論調査」より
<https://www.healthagingpoll.org/reports-more/report/how-pets-contribute-healthy-aging>



Dr. Oliver Knesl（獣医師、HAI研究者）



Dr. Zenithon Ng（獣医師、テネシー大学獣医学部臨床准教授、HAI研究者）



紹介

CAPP認定 パートナーズ

- ① CAPP訪問活動先
- ② パートナー紹介
- ③ 今後の抱負



勝野 悦子さん(東京都) & 愛犬ペコ

- ① 長谷川病院(三鷹市)、浴風会(杉並区)、ツクイ・サンシャイン成城(世田谷区)、特別養護老人ホーム芦花ホーム(世田谷区)
- ② 2013年5月18日生まれ。ミニチュアシュナウザーの女の子です。パピーの頃からとにかく人と触れ合うのが大好きで散歩中も声をかけてもらい撫でてもらうのを楽しみに歩いています。
- ③ 毎回、利用者さまの笑顔や温かい言葉に触れながら楽しく活動をしています。私とペコがここまで続けてこられたのもCAPP活動の仲間のみなさんのおかげです。まだまだ学ぶことの多い私ですが、今後は単独で訪問活動ができるように頑張りたいと思います。

JAHA CAPP活動に参加して



赤坂動物病院 愛玩動物看護師
渡邊 初音(2022年4月入社)

訪問月日 2023年5月18日
訪問先 浴風会浴風園
チームリーダー 風祭 紀子様

CAPP活動に参加しての感想

CAPP 活動に初めて参加させていただいて、動物が持つ力は偉大であることを改めて感じる事が出来ました。今回参加した活動では、小型犬から大型犬までが活躍していました。人のみでの参加の方も何人かいらっしゃいました。活動前に赤坂動物病院の看護師竹中さんが1頭ずつ健康チェックを行っていました。動物の健康チェックをすることは、動物と利用者様にとって安全に活動するにあたり、大変重要で、動物看護師として活かせる大切な仕事であると学ぶことができました。利用者様は輪になっておられ、「茶摘み」をみんなで歌いながらワンちゃんたちは入場してそれぞれ挨拶をしていました。ワンちゃんをみて利用者様が自然と笑顔になられていて微笑ましかったです。嬉しそうに両手を広げて招こうとしている姿も見受けられました。私は、竹中さんとむぎちゃんと一緒に周って1人ずつ利用者様に挨拶をしました。大型犬のワンちゃんは利用者様の足元に座って寄り添い、大変喜ばれていました。昔、ワンちゃんと暮らしていたとお話して下さった方がいました。久しぶりにワンちゃんと触れ合うことができ「ダックスを飼っていた頃を思い出してとても幸せです。動物は幸せと癒しを与えてくれ

る存在ですね。本当にありがとう。」とおっしゃっていて、この活動は沢山の方々を笑顔にできる大切な活動であると実感しました。中には、ワンちゃんが苦手な方もいらっしゃいました。いきなり前からは近づかずに利用者様の横についてむぎちゃんの背中を見せるようにして少しずつ近づいてみると、背中を触ることや顔を撫でることもでき、最終的には利用者様が自ら手を出して膝の上に乗せることができるようになりました。大変感動し、印象に残っています。ゲームやワンちゃんたちの特技披露もありました。ゲームでは、「おすわり」「まわれ」「ふせ」「まで」の記載されたカードを利用者様に引いてもらい、披露していました。成功すると大盛り上がりでした。利用者様にとっては楽しめるだけでなく、カードを引くという動作や動物と触れ合うこと、お話をすることも立派なりハピリになるということも学ぶことができました。私自身も楽しませていただけて、あっという間に活動の時間が終わってしまいました。沢山の利用者様に「楽しかった」とお言葉をいただけて幸せな気持ちになりました。今後CAPP活動に参加させていただきたいです。

会議録 2023年度 第1回広報委員会 会議録

日時:2023年11月24日(金)17:00~19:00
 会場:JAHA事務局(東京都中央区日本橋本石町 3-2-7常盤ビル7階)
 出席者:
 会長:宗像 俊太郎
 副会長:上野 弘道
 専務理事:水野 浩茂
 理事:吉田 尚子

委員:浅井 亮太、大石太郎(zoom参加)、錦澤 仁(zoom参加)
 事務局:横川、山内、伊藤
 内容:
 1. 今期執行部の方針、広報委員会の役割(確認)
 2. SNS等の現状の運用状況と今後の改善についての協議
 3. その他

会議録 2023年度 第1回ホスピタル委員会 会議録

日時:2023年11月29日(水)15:30~17:30
 会場:公益社団法人日本動物病院協会(JAHA)事務局会議室(ハイブリッド開催)
 出席者:
 委員長:村田元(来局)
 委員:大石太郎(zoom)、北尾貴史(来局)、杉崎勝樹(来局)、錦澤仁(zoom)、増山浩一(zoom)
 理事:宗像俊太郎(来局)、吉内龍策(来局)、上野弘道(来局)、水野浩茂(zoom)
 事務局:千葉治、伊藤啓美

協議内容:
 1. 2023年度実施セミナーの振り返り
 2. 2024年度事業予定、および今後の事業計画
 1)動物病院講座、ホスピタルセミナー
 ①新人研修
 ②中堅クラスの活性化を促すセミナー
 ③正会員、経営者層の勉強会
 ④年次大会 記念講演・ホスピタルセミナー

会議録 第2回 年次大会2024 実行委員会 会議録

日時:令和5年12月1日(金)13:00~14:51
 開催方法:Zoom オンラインミーティング
 出席者:
 実行委員長:勝間健次
 実行委員:浅井亮太、家入秀明、大石太郎、澤村昌樹、高橋秀児、寺島美穂、中村悟、中村喜雄、長谷往明、増山浩一、水越美奈、宮崎務、森淳和
 担当理事:宗像俊太郎、市川陽一朗副、水野浩茂
 欠席:横山篤司、松尾英治、村田元
 報告事項:

○企業協賛・展示料金について
 検討事項:
 1.2024年次大会の「大会テーマ」について
 ⇒多くの委員の先生方から意見を寄せていただいて、最も多かった、「One Well-being~人と動物と自然にやさしい未来を目指して~」を年次大会2024の大会テーマとして、決定した。
 2.年次大会2024の「大会の参加費」について
 3.各プログラムの進捗状況の共有と検討

会議録 第1回 WJVF実行委員会(2024年)

日時:2023年12月14日(木)13:30~15:40
 開催方法:Zoom
 出席者:
 実行委員長:正田晃一
 実行委員:浅井亮太、石田千晴、岸涼香、小林智子、近藤元紀、中村喜雄、新山亮
 理事:吉内龍策、宗像俊太郎

事務局:横川佳代子
 (欠席:小山田和央、桑原岳、寺島美穂)
 議題:
 ・目標、メインテーマ、サブテーマ
 ・全体時間配分、コマ割り、プログラム案
 ・参加者受付、展示ブース

会議録 2023年度 第1回VN委員会(zoom開催) 会議録

日時:2023年12月20日(水)13:00~15:15
 出席者:
 委員長:家入秀明
 委員:長谷往明
 理事:宗像俊太郎、市川陽一朗、横山篤司
 オブザーバー:水越美奈(シニアケア講座プログラムディレクター、講師)
 事務局:千葉治、伊藤啓美、鎌田真弓
 欠席者:勝間 健次、松尾 英治、増山 浩一
 報告事項:
 1)VN委員会副委員長の新設と就任について

2)2023年度、既に終了したVN委員会担当セミナーに関するご報告
 協議事項:
 1)VN委員の追加に関して
 2)株式会社EDUWARD Pressよりの持ち込み企画について
 3)2024年度 愛玩動物看護師対象オンラインセミナー(IBVNセミナー)について
 4)株式会社エフスリー 社よりの持ち込み企画について
 5)2024年度の愛玩動物看護師国家試験対策セミナーについて
 6)年次大会2024 VNプログラムの検討について



2023年 11月CAPP訪問活動

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
青森県	鶴ヶ丘苑【村田道子・保本明彦(V)】	30	1		7	4			
栃木県	マイホームきよはら【矢野真人(V)】	12	3		11	10			
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	6	1		4	3			
東京都	シーダウォーク【滝村昌世・小林豊和(V)】	22		1	11	1	7		
	浴風会【風祭紀子・竹中晶子(VN)】	2		1	15	10			
	くめがわ翔裕園【永島憲子・晶中道昭(V)】	8			7	1	5		
	テイサービスD-Festa立川【中島千恵・天野祐太(V)】	9		1	3	3			
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	20	1		9	1	6		
神奈川県	旭ホーム【水谷渉(V)】	5	3	2	1	1	1	3	
	横浜さくら苑【佐藤恭子】	12			6	1	5		
	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	16	3	2	2	1	2	3	
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	19			3	1	3		
	ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】	23	1		4	4			
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	2	2	2	1		2	2	
愛知県	ナーシングホーム形原【太田恵里・大竹克己(V)】	17			5	1	5		
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	19	1		8	5	6		
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	15	2		6	6	1		
福岡県	若杉の里【徳永和可子・佐藤良治(V)】	22			3	2			
	合計	18回	18	9	106	11	81	6	8

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	14	1	3	1	4			
東京都	都立府中療育センター【植矢智枝・石川幸子(V)】	13	1		8	5			
神奈川県	ちがさきの木魂【水谷渉(V)】	9	3	2	1		2	3	
福井県	金津サンホーム【大門由美子(V)】	22	1		1	2			
	合計	4回	6	5	11	0	11	2	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	おたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	12	4	1	8	6			
	南流山地域図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	18	3	2	7	4			
	千葉市立作新小学校【乙守智奈美(V)】	2	2	1	7	5			
東京都	板橋区立赤塚新町小学校AAE【千葉陽子(V)】	25	2	1	11	1	10		
	八王子第二小学校【千葉陽子(V)】	30	3		8	6			
宮崎県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	6			3	6			
	合計	6回	14	5	44	1	37	0	0

病院等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	15	1		3	3			
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	29	4			2			
東京都	東京衛生ドワンゴ外病院【竹中晶子(VN)】	3		1	1	1	1		
		10		2	1	2	1		
		17		1	2	2	1		
		24		1	2	2	1		
	信愛病院AAA【後藤三枝子・柴内裕子(V)】	14			9	6			
	長谷川病院【浅原久子】	17			2	2			
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	15	1		3	3			
愛知県	愛知県医療教育総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	17			4	2			
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	22			4	3			
大阪府	新阿武山病院【湯浅明奈(V)】	24	1	2	4	1	5		
兵庫県	神戸アドベントリスト病院ホスピス【石井孝子】	1			1	1			
		15			1	1			
	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	8	1		2	3			
	合計	15回	8	7	39	1	38	4	0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
11月合計	43回	46	26	200	13	167	12	11

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

【事務局日誌 / 12月】

1日	金	第2回年次大会実行委員会
2日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義2(パート1) 講師:水越美奈先生 司会:羽金道代先生 担当:黒田
5日	火	愛玩動物看護師国家試験対策セミナー 第4期第1回 担当:千葉
6日	水	愛玩動物看護師オンラインセミナー 講師:根尾櫻子先生 担当:千葉
7日	木	CAPP認定試験 ジャッジ:千田純子先生、サブジャッジ:千葉陽子先生 協力:CAPPボランティアの皆様 担当:山内
8日	金	執行役員とのミーティング
12日	火	愛玩動物看護師国家試験対策セミナー 第4期第2回 担当:千葉
13日	水	千葉市AAE養成講座3 動物病院スタッフのためのシニアケア講座 第2回 講師:皆上大吾先生 司会:羽金道代先生 担当:伊藤
14日	木	WJVF実行委員会
15日	金	執行役員とのミーティング
16日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義2(パート2) 講師:水越美奈先生 司会:羽金道代先生 担当:黒田
19日	火	愛玩動物看護師国家試験対策セミナー 第4期第3回 担当:千葉
20日	水	第1回VN委員会
21日	木	執行役員会 理事会
22日	金	CAPPボランティア講習会・オンライン 講師:風祭紀子様、滝村昌世様 担当:山内
26日	火	愛玩動物看護師国家試験対策セミナー 第4期第4回 担当:千葉

セミナー予定

●こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコースオンライン

講師:村田香織先生
 日程:全7回(第1回~第6回は録画配信、第7回のみZoomによるリアルタイム配信(10日間の見逃し配信あり))
 ⑥2月1日~7日 子猫の選び方・ニーズ、子猫の困った行動(攻撃行動・排泄問題・爪とぎ・先住猫との関係など)
 ⑦3月1日~7日 こねこ塾
 ⑧3月8日(金)13-15時リアルタイム配信(見逃し配信あり)

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2023・オンライン

日程と講師:
 第4回:「高齢動物の栄養学・栄養管理」
 2月21日(水)14:00~17:00 講師:徳本一義先生
 第5回:「高齢動物のケア、犬猫とご家族のQOLを高める工夫」
 3月10日(日)14:00~17:00
 講師:小野沢栄里先生、小松原大介先生、島田旭緒先生
 主な対象者:獣医療スタッフ(愛玩動物看護師、獣医師等)
 定員:80名

●オンライン国際セミナー「2024年循環器駅伝:命のバトンを繋げるためのトリプルセミナー」

形式:Zoomを使用したライブ配信
 講師:Dr. Marisa Ames (University of California, Davis)
 日程:2月4日(日)13:00~15:00
 講師:Dr. Lauren Markovic (University of Georgia)
 日程:2月23日(金)21:00~23:00

●JAHA会員特別オンラインセミナー

講師:林慶先生
 日程:2月1日(木)20:00~22:00
 内容:論文を作成することの重要性、受理されるためのポイント
 参加費:JAHA会員:無料
 会員外一般:11,000円

●新人を迎える準備セミナー・オンライン

講師:磯部裕子先生
 日程:2月28日(水) 午前クラス9:30~12:30、午後クラス14:00~17:00(午前コースと午後コースは、同一内容です)
 定員:各コース16名予定

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 実技1「成犬キャンプ」

講師:矢崎潤先生他
 日程:3月26日(火)~3月28日(木)
 会場:帝京科学大学 千住キャンパス
 定員:20名

●新人研修セミナー・オンライン(全2回)

講師:磯部裕子先生
 日程:4月3日(水)・4月10日(水)
 内容:
 1. 社会人の心構え
 2. ホスピタリティの心とその表現方法の基本
 3. 仕事に早く慣れるために

後援催事等

●ちよだ猫まつり2024

日程:2月17日(土)・2月18日(日)
 会場:千代田区役所
 内容:人と猫の共生、そして動物福祉の向上を目指すチャリティイベント

●第11回ベビアカデミックフェスタ2024

日程:3月2日(土)・3日(日)の2日間
 対象:獣医師、愛玩動物看護師、トリマー、その他動物病院スタッフ
 会場:NKスクエア玉造 対面形式
 主催:新日本カレンダール株式会社

●令和5年度千葉県獣医師会獣医学術年次大会

日程:3月17日(日)9:00~17:00
 対象:獣医師、愛玩動物看護師、獣医系大学在学学生・大学院生、動物看護師大学在学学生・専門学校在学学生
 会場:千葉ポートスクエア内
 内容:特別講演、市民公開講座
 申込先:info@cpvma.com

●インターペット東京2024

日程:4月4日~7日
 対象:小売業、流通業、動物病院、サービス業、学校関係者、プレスなど
 会場:東京ビックサイト
 問い合わせ先:info@interpets.jp

会員数(令和5年12月28日現在)

合計8,420名

動物病院会員A	418病院	勤務獣医師会員	1,724名
動物病院会員B	252病院	勤務動物看護職員	4,809名
個人正会員	5名	学生会員	31名
名誉会員	2名	サポート会員	699名
個人獣医師会員	101名	施設賛助会員	156施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	63社
学術会員	147名		

令和6年能登半島地震におけるJAHAの対応について

被災地域会員の皆様へ

このたびの令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々および動物たちに謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々、動物たちに心よりお見舞い申し上げます。

公益社団法人石川県獣医師会に「令和6年能登半島地震動物対策本部」が設置され、募金活動が開始されたことを受け、本会より寄付金50万円を1月12日付で送金いたしました。

被災地域のJAHA会員病院には大きな被害がなかったことがわかり安心いたしました。未だ余震が続く救出活動が行われている中、被災された皆様のご心労やご不便を拝察し察しております。

今後とも関連諸団体との連携の上で、必要な支援を行ってまいります。

被災地域の皆さまの安全確保と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2024年1月12日
 公益社団法人日本動物病院協会
 会長 宗像 俊太郎

JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

~過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中~ 動画配信専用コンテンツもあります

第171回 国際セミナー

Dr. Johnsonに教わる「The 呼吸器病学」 ~正しい診断で最適な治療を目指そう~

2022年12月にコロナかを経て、3年振りの対面セミナーとして開催した

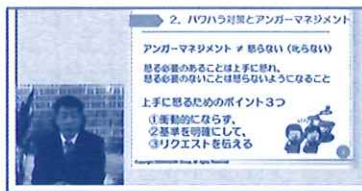
講師: Dr. Lynelle Johnson
 Diplomat, ACVIM
 Professor, University of California- Davis



経営情報(労務)

第106回 「バワハラにならない上手な叱り方」について

講師: 社会保険労務士法人 和 (なごみ)
 特定社会保険労務士 天野 勉 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
 オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
 セミナー開催が厳しい状況が続く今、
 皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから(正会員病院の限定サービスです)
 ※アカウントをお持ちでない方は、
 以下のリンクより「サービスの案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>

